

「伊方発電所に関する説明会」に係るアンケート調査結果

配布日：平成 27 年 8 月 19 日（水）

[説明会資料に返信用封筒を併せて同封]

配布数：92

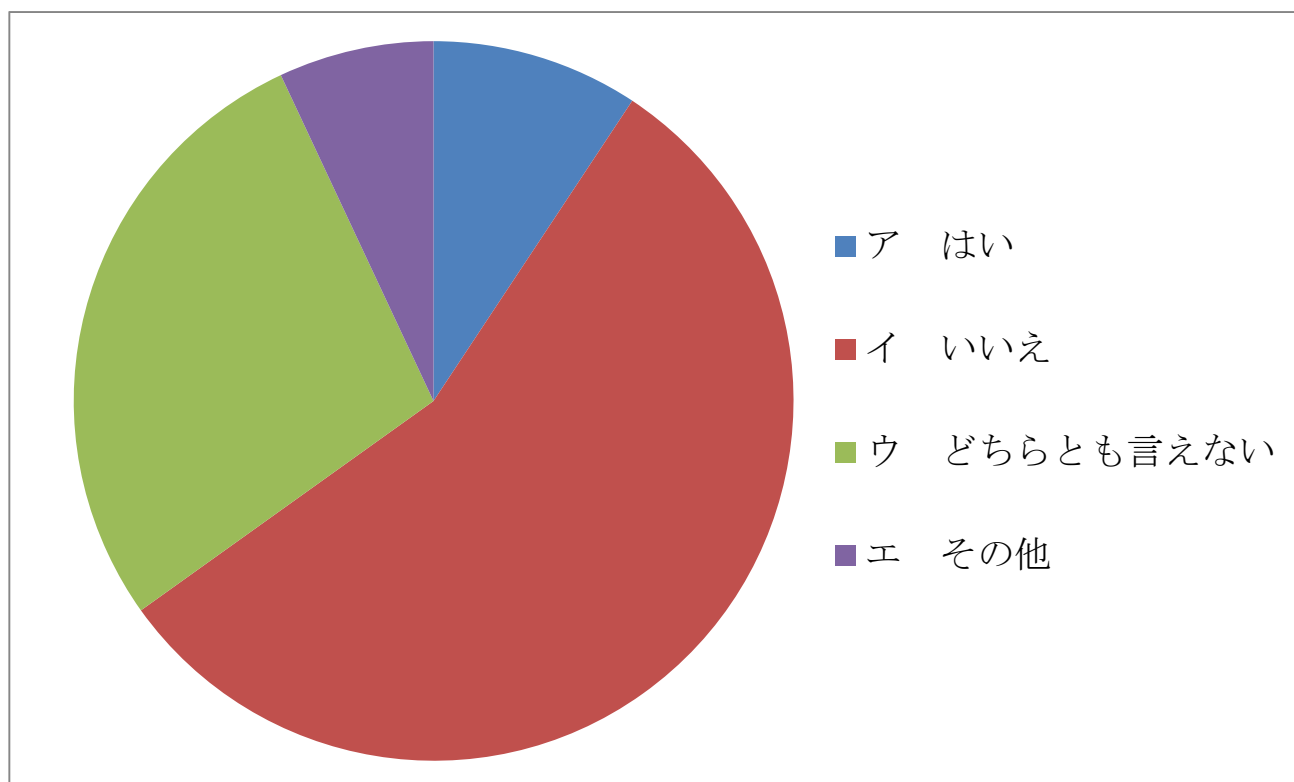
回収数：43

回収率：46.7%

集計日：平成 27 年 8 月 27 日（木）（締切：平成 27 年 8 月 26 日（水））

問1) 本日の説明会で、国・県・事業者の説明は十分であったと思いますか。

ア はい	4	9%
イ いいえ	24	56%
ウ どちらとも言えない	12	28%
エ その他	3	7%



「伊方発電所に関する説明会」に係るアンケート調査結果

○「イ いいえ」の不十分であった点

- ・ 東日本大震災から4年経つにもかかわらず今回が初の説明会である。
- ・ 余りにも説明に時間をとっていないためによく分かりにくい。
- ・ 説明を急ぎ過ぎて理解できないことが多かった。
- ・ 説明が速すぎて解らない。
- ・ 説明時間、質問時間も短く、質問に対して十分な回答がなされていなかった。
- ・ 短時間で何もかもすませようとする態度。
- ・ 専門な問題を短時間では無理。おぎなりの説明にすぎない。
- ・ 原稿の棒読み。理解できない内容多数。
- ・ それぞれの説明時間が短く、詳しい説明まではできていない点。
- ・ 事故時の情報開示、避難計画が不備。
- ・ 当日の資料配布であり、質問に関するキャッチボールができない。保障されていない。一方的である。
- ・ 時間が足りない。内容が難しく理解しにくい。
- ・ 説明時間が全く足りていない。
- ・ 夜間の上、説明が一方的であった。
- ・ 時間が短いので、パンフレットを見る時間もなかった。
- ・ 基本方針は決まっても具体性がない。
- ・ 全体的に時間不足、質疑時間をもっと。

○「エ その他」の意見

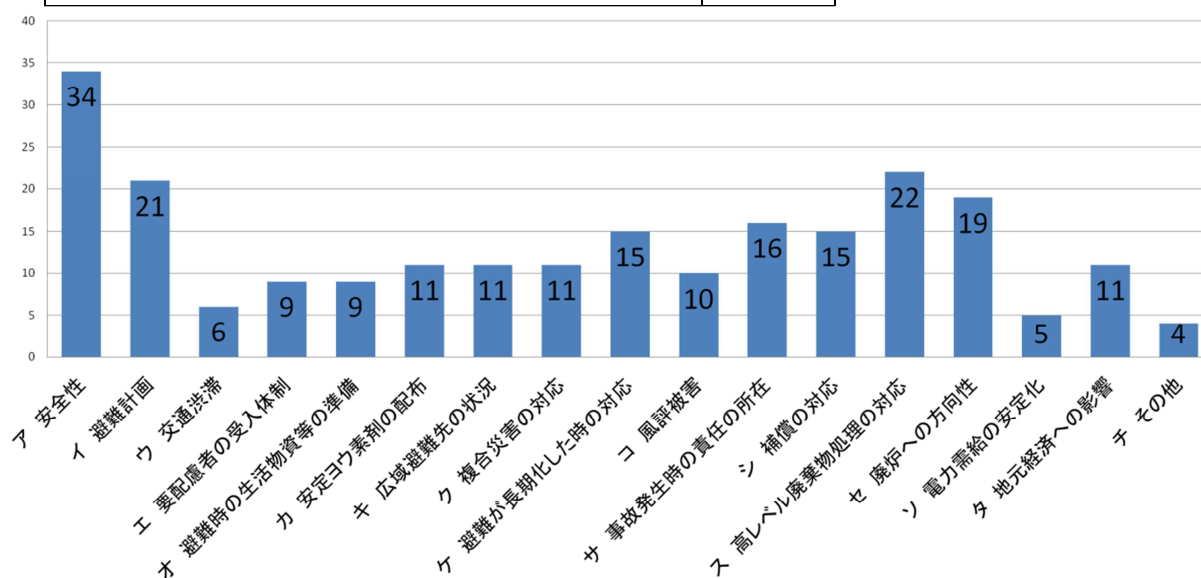
- ・ レベル低すぎ
- ・ 専門用語が多く、特に四電の設備がどれくらい優れているのか分からなかった。

「伊方発電所に関する説明会」に係るアンケート調査結果

問2) 再稼働について、心配または期待している点はありますか。

(複数回答可)

ア 安全性	34
イ 避難計画	21
ウ 交通渋滞	6
エ 要配慮者の受入体制	9
オ 避難時の生活物資等の準備	9
カ 安定ヨウ素剤の配布	11
キ 広域避難先の状況	11
ク 複合災害の対応	11
ケ 避難が長期化した時の対応	15
コ 風評被害	10
サ 事故発生時の責任の所在	16
シ 補償の対応	15
ス 高レベル廃棄物処理の対応	22
セ 廃炉への方向性	19
ソ 電力需給の安定化	5
タ 地元経済への影響	11
チ その他	4



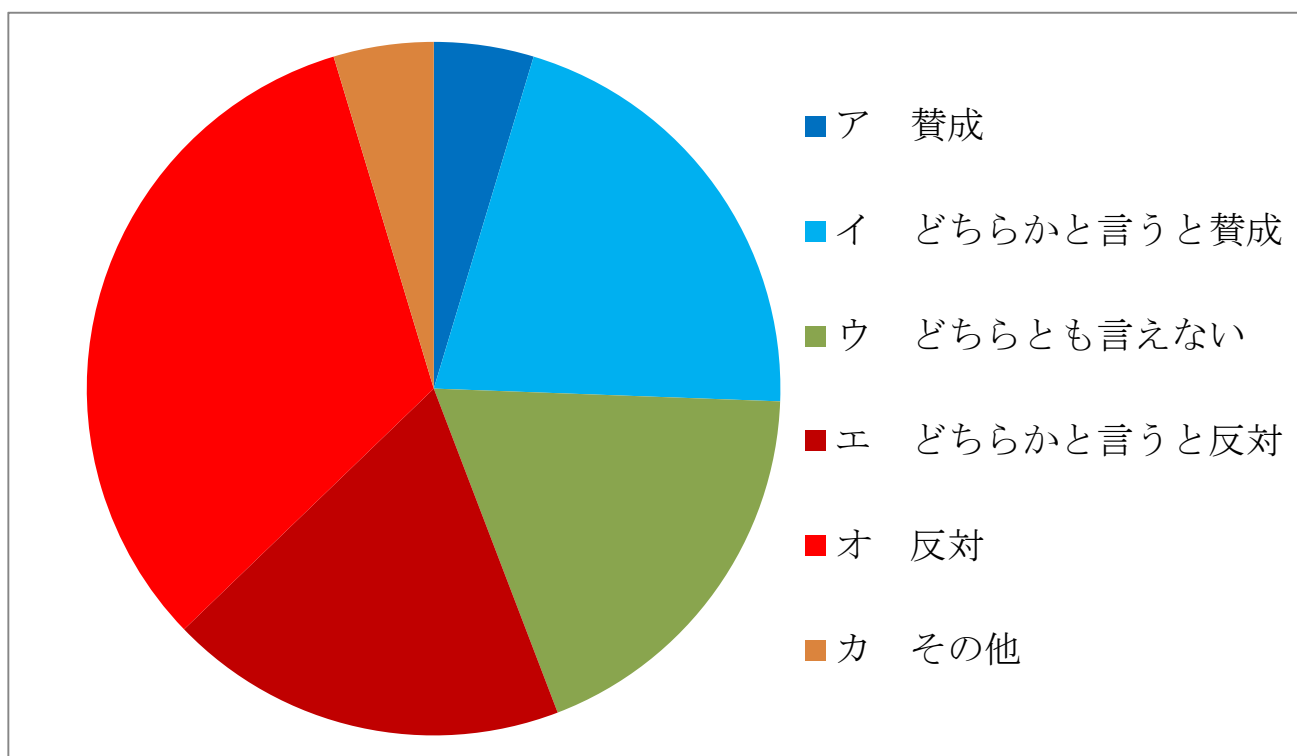
「伊方発電所に関する説明会」に係るアンケート調査結果

○「チ その他」の意見

- ・ 事故発生後の九四フェリールート¹の運行継続
- ・ 情報の正しさに不安あり。
- ・ 風評被害に含まれますが、一次産業が大きくシェアを占めているので、特に風評被害と思います。
- ・ 重大事故発生時の迅速かつ的確な対応策・機能的な組織編成。

問3) 伊方発電所の再稼働について、どう思いますか。

ア 賛成	2	5%	26%
イ どちらかと言うと賛成	9	21%	
ウ どちらとも言えない	8	19%	19%
エ どちらかと言うと反対	8	19%	51%
オ 反対	14	32%	
カ その他	2	4%	4%



「伊方発電所に関する説明会」に係るアンケート調査結果

問4) 上記、問3の理由を教えてください。

○「ア 賛成」「イ どちらかと言うと賛成」の理由

- ・原子力の活用を始めたのだから、管理技術の維持獲得の道が必要。
- ・規制委員会の厳しい基準をクリアしている。
- ・再エネのキャパシティの話も聞けてよかったです。
- ・原発を使いながら最後は別のエネルギーを検討していただきたい。
- ・現在、再生エネルギーによる発電が十分確立されていないため。
- ・電気料金の値下げや電力の安定供給が期待できるため。
- ・現時点において、日本のエネルギーの安定供給と日本経済の発展のためには再稼働は止むを得ない。
- ・将来的には原発は廃止すべき。しかし、今の時点では安心できる電力供給、経済性から止むを得ない。しかし、安全性が一番大切。
- ・説明会で2重3重の安全性がよく理解できた。
- ・現実的には賛成
- ・安定供給、経済効果、環境の観点から代替エネルギーへ拡充できるまでは3号機については再稼働すべきと考える。

○「ウ どちらとも言えない」の理由

- ・安定的な電力供給の面では、いたしかたない面もあるが、万が一に事故が起きた場合のことを考えるととても不安なため。
- ・電力の安定供給はできるが、事故が心配。

「伊方発電所に関する説明会」に係るアンケート調査結果

○「エ どちらかと言うと反対」「オ 反対」の理由

- ・再稼働の必要性が動機を含めて不十分。
- ・福島原発問題が終息していない。
- ・福島の現状を見て安全と言われても政府・東電は信用できない。
- ・最終処分場の問題が解決していない。
- ・経済重視の原発については、可能な限り前寄りにして廃止すべき。
- ・万が一事故が起きたときのことを考えると怖い。
- ・100%安全性が担保されない段階で、経済性やエネルギー情勢から原発を選択するのは論外である。
- ・住民の生命・財産の保全がまず第一である。
- ・安全に絶対はない。
- ・安全でないから。
- ・国も事業者も東京電力の事故に関して検証できているとは思われない。
- ・核の安全性、核廃棄物の最終処分の場所・方法が未確定であること。
- ・最終処分の出口が見えない。
- ・基本的に必要ありません。原発に必要な金を火力発電に伴うCO2削減装置の研究・開発に使ってください。
- ・電気料金（一般家庭）が2～3倍になっても原発ナシの方が安心です。
- ・使用済燃料を受け入れるところは日本にはないと思いますよ。どうするのですか？
- ・すべての原発全面廃止にしてほしい。
- ・福島原発事故の原因が不明であり、事故の責任も明確でない。事故原因の究明責任の所在を明確にした後、伊方原発の再稼働を検証すべき（安全性を含めて）。
- ・反対者の意見が取り入れられた討論が保障されていない。これでは安全は保障されない。
- ・伊方原発が再稼働されなくても、何ら支障は出ていない。福島原発事故で明らかのように事故が起きてからでは遅い（取り返しがつかない）。

「伊方発電所に関する説明会」に係るアンケート調査結果

- ・ 反対理由は何から書いてよいか分からないほどたくさんある。
- ・ 安全性について、大いに疑問がある。
- ・ 事故を起こさなくても温排水を出して環境破壊しているのではないか。
- ・ 石油や石炭が高い高いというのもおかしい。
- ・ 事故が起きれば人々の人生も地域も地元も元に戻らないし、戻せない。
責任をとる気もとる能力もないのは福島を見ればよく分かる。再稼働を言うなら、福島をまず解決して見せるべき。
- ・ 福島のことを考えると賛成できない。
- ・ 福島の問題が具体的に解決の見通しが立ち、問2の問題点（安全性、避難計画、廃棄物処理の対応、廃炉への方向性）について具体的方法、場所まで明確になるまでは賛成できない。
- ・ 福島原発事故の様子を見ていたら賛成はできません。
- ・ 安全性が保証されていない。事故時の責任が不明確。
- ・ 「核のゴミ」対策
- ・ 原発は日本の火山国であることがらも日本では土台無理。福島の事故の究明ができていない伊方は内陸にある。大規模な断層破壊に耐えられない。
- ・ 原子力によるメリットも大きいですが、福島の事故でもみられたように、一度事故が起きると被害が甚大となっている。福島の教訓を生かして他のエネルギー開発をすべき。
- ・ 最終責任者である国のカクゴが理解できないこと
- ・ 津島大濱海岸への原発設置の動きがあったが、住民のねばり強い反対で、危険な原発を作らせない争いがあり、断念させたことにもみるように、また、福島原発の現状を見てもとても危険である。
- ・ 原発推進にかかる費用は、研究・防護・鋼材、あらゆる面で膨大である。途方もない税金が投入されている。原発は中止して再生可能エネルギーに方向転換してほしい。原発廃棄物も何万年もかけないと消滅できない。廃炉にするにも50年以上かかると聞いた。それに携わる労

「伊方発電所に関する説明会」に係るアンケート調査結果

働者の仕事は続くので仕事はなくなるらない。

- ・環境にやさしいと説明されたが、原発はもつとも環境を悪くする。人間も癌にかかる人が多いが、化学物質や長寿も原因しているが、放射能も影響していると思う。
- ・1年数か月も原発ゼロで寒い冬も暑い夏も越すことができました。個人も省エネを徹底して孫達に美しい地球を手渡したい。ついでに、核兵器も世界中の戦争もなくなれば良いと願っています。
- ・職員の方々の夜の説明会お疲れさまでした。ありがとうございました。

○「カ その他」の理由

- ・1号機2号機の廃炉を決めた上で3号機の再稼働を決めてほしい。
- ・もし、再稼働した場合、電気代はいくら安くなるのですか？

問5) 原子力発電全般について、ご意見等ありましたら、ご自由にご記入ください。

- ・規制庁の審査基準の説明と四電の施設の基準見直しの説明が重複しており、打合せた上で説明にあたってもらいたい。
- ・状況説明に終始しており、再稼働をする必要性、妥当性等の動機が希薄であった。
- ・説明をされただけで、賛成にも反対にも評価のしようがなかった。
- ・再稼働には慎重をお願いします。
- ・原発と命・暮らし・未来は共存できない。
- ・原発事故に対する国と電力会社の責任意識が薄い。もっと責任は重いもので100～200年くらいで償うべきものとする。
- ・廃棄物の処理も全く対応ができてなく今後も対応ができるとは思えない。見切り発車である。これまでも長期にわたり決定できなかったの

「伊方発電所に関する説明会」に係るアンケート調査結果

で、これからも同じと思う。

- ドイツを手本にして原発は中止・廃炉にすべき。エネルギー政策を自然再生エネルギーに変えてほしい。
- 地震・火山の心配がある日本では不適切である。
- 福島原発事故の教訓は生かされていない。
- 住民に秘密でこっそり開かれた説明会。一方的な説明会では、何一つ本当のことは分からない。言いくるめられると思っているのだろうか。力でゴリ押ししようとしているのか。
- 専門的なことで煙に巻かれると思いきや、小さなことではツッコミ所はたくさんあった。本来なら討論の中で真実に向かえるはず。公開討論会（それも小さな単位でたくさん）を開くべきですよ。堂々と再稼働を進めるべきですよ。
- 説明会に来られた方、あなた方にはどのような責任がとれるのですか。今だけでなく、日本の未来を見つめてください。私たちの血税もよく考え大事に使ってください。
- このアンケート結果、公にしてください。誰にも届くように。
- 地域の全般への説明は必要かと思われる。
- 放射性廃棄物の安全で恒久的な管理について。
- 国民の原子力発電に対する不安の解消に努力していただきたい。
- 責任者は厳しい意見、多様な考えを謙虚に受け入れるべきである。
- 福島原発の轍を踏んではならない。
- 国の事故発生後の責任の対応のまずさがある。事故後、早く対応することを望みます。
- 住民説明会と銘うっているが、推進したい側の免罪符づくりだと思います。説明される人たちも大変だと思いますが、「事故起きた場合にも、住民には説明しましたから」というアリバイづくりだと感じました。
- 私は、再稼働について「どちらでもない」という立場ですが、一度や二度説明会を開いても、反対派の人は何とでもいいがかりをつけると

「伊方発電所に関する説明会」に係るアンケート調査結果

思う。

- ・ 何回説明会を開いても反対の人はずっと反対すると思うが、私のような中立な立場の人間は、何度も説明会が開かれることにより、四電や推進する立場の人たちの誠意を感じるようになると思います。「一回だけやってそれで終わり」では、反感を持つ人が増え、反対派が増えると思います。「これでもか」というくらい物理的制約はありますが、何十回も説明会を開けば、賛成する人は私を含めて増えると思います。
- ・ 今日の説明会、短時間で専門用語も多く、難しい内容だと思う。消火不良です。
- ・ 私は説明会を聞いて「賛成・反対」を決めたいと思ってきましたが、今日の内容では無理です。よう決めません。推進する側が一方向的に説明するだけでは、素人の我々はそれを信じるしかありませんが、事故が起きてからやっぱり「騙されとった」と思うのでしょうか。学者連中にもいろいろな考え、立場の人がいます。
- ・ 安全に「絶対」ということはないので、反対派の人の言うことも分かるし、推進する側の立場も分かるし、難しい問題だと思います。
- ・ 事故がもし起こったら、避難先での対応を万全にしてもらいたい。
- ・ 住民の総意とは何か。しっかり考えてほしい。
- ・ なぜ今後も原発に依存しなければならないのか。結局は、電力会社の利益のためではないか。
- ・ 周辺地域にとって原発があることのメリットがない。危険におびえる生活を強いられるだけ。
- ・ 再生可能エネルギー施策の今後を明らかにするべき。
- ・ 将来的には廃炉が望ましい。
- ・ 原子力発電は核のゴミを処理できない。事故発生で住民、国民が失うものが余りに大きい。放射能を管理できない。福島をみると失うものが余りに大きい。
- ・ 福島原発のシビア・アクシデントは、東電の人災であると考え。原

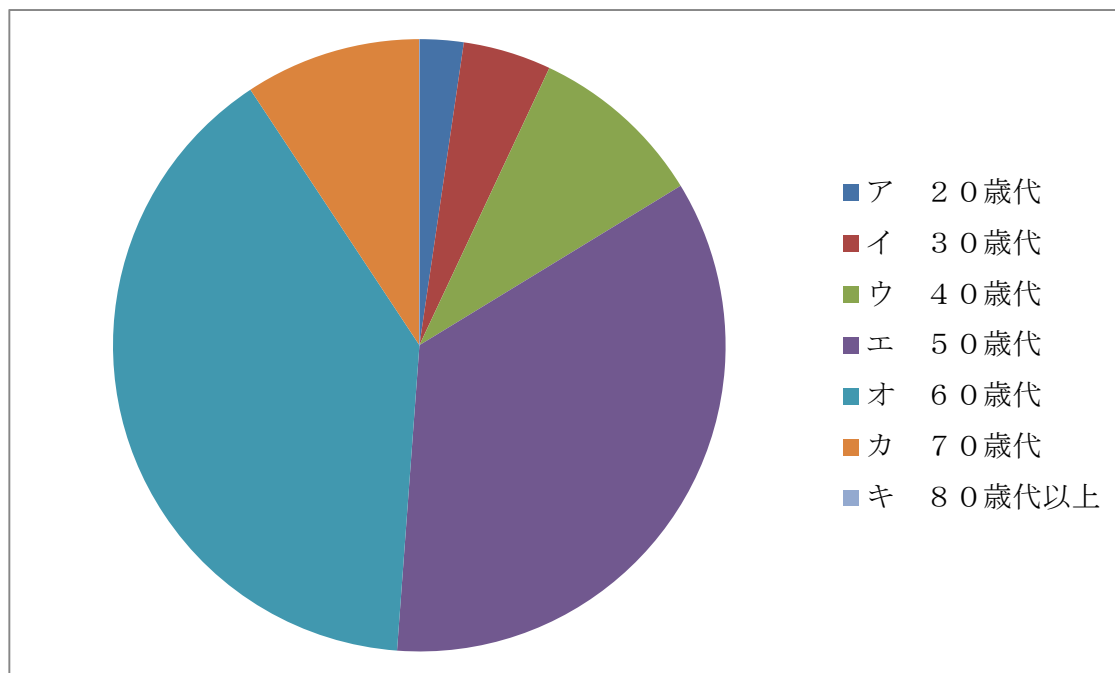
「伊方発電所に関する説明会」に係るアンケート調査結果

発の安全神話は今もあると思う。

- ・リスクの無い生活はあり得ない。夏のことばかり言いすぎる団体、マスコミの考え方をを変えることは大変であるが、根気強く関係者に説明することが大切と思う。

問6) あなたの年齢を教えてください。

ア 20歳代	1	2%
イ 30歳代	2	5%
ウ 40歳代	4	9%
エ 50歳代	15	35%
オ 60歳代	17	40%
カ 70歳代	4	9%
キ 80歳代以上	0	0%



※各質問の意見等は、アンケートの提出順にそのまま記載しています。